

PTA活動紹介			高P連受付番号	2-8	令和5年度PTA研修会 体験内容				
PTA(学校)名	愛知県立愛知総合工科高等学校		部門No.	2	学科	テーマ	説明	イメージ写真	募集人数
活動テーマ	子どもたちの実習を体験してみよう！ ～子どもたちは日々どんな環境で学習をしているの？工科高校の施設ってすごい！～				理工科1	トンボ玉	実験用バーナーを利用して、ガラス細工でトンボ玉を作ります。		10
キーワード	①愛総工オリジナル	②子どもたちの学びを探究	③PTA同士、先生との交流		理工科2	ハンドクリーム	ホホバオイルと天然香料を調合して、オリジナルハンドクリームを作ります。		10
開催日	令和5年11月24日(金)				機械系	ロボットによる自動搬送	アームロボットやベルトコンベアを動かすプログラムを作り、ピタゴラススイッチのようにゴールを目指します。		10
場所	愛知県立愛知総合工科高等学校 視聴覚室及び各学科実習室				電気系	フットライト	電気工事で使用する材料で足元灯(フットライト)を作ります。		10
時間	午後2時から午後4時まで				建設	住宅設計	平屋建て住宅を設計します。3D・CADを使って内観、外観を立体で表現します。		10
参加者	1テーマ10名(6テーマ合計60名)、各講座の担当教員12名程度				デザイン工学	お猪口づくり	「玉作り」という技法を使って、土でお猪口を作ります。後日、焼成も行います。		10
趣旨等	<p>高校生になると友達の幅が広がり、行動範囲も広がります。何気ない日常の中で、子どもは思春期で親との距離ができ、親としては少し寂しさを感じる場合があります。今まで目が届いていた世界が知らない世界になる。工科高校の実習もその一つです。一般的な授業は何となくイメージできますが、専門的な実習はイメージがしにくいものです。更に学校の話をしてくれなくなると今何を学びどんなことをしているのか、知らないことばかりです。今回先生方の協力もあり、昨年同様6つの講座を開催することができます。親にとっては今まで見たことのない子どもの世界を体験する機会となります。そのような興味もあってか、今年も全講座、満席と言う嬉しい結果となっています。</p> <p>講座を選ぶ際も、自分の子どもの学科の講座を体験する方が多いようです。昨年開催された際、私も我が子の学科を体験しました。初めて工業実習の先生と向き合い、説明を聞く。「子どもたちはこんなことを学んでいるのか」、「危険を伴う作業は先生の迫りもすごいな」など、いろいろ感じながら実際に手を動かしていきます。同じ体験をする周りの方との交流もよい時間になります。学校に行く機会が少なくなり、他の方と話をすることが少なくなるため、同じ学科にいる保護者と話をするよい機会となりました。自宅に帰ってからも子どもと共通の話題で話をすることができました。この体験を通して、子どもと時間を共有することができ、新しい保護者との交流、実際の体験を通して難しさも知ることができました。</p> <p>今年も多くの方の参加により、より豊かな学びと交流、共有する時間をもつことができます。この企画を通して今まで関わりのなかった先生方と話す機会をもつことができます。</p>								
活動ポイント	<ul style="list-style-type: none"> ①愛知総合工科高等学校ならではのオリジナル研修内容 ②子どもが日々使用する実習室で実際に作業を体験し工業高校の施設を探究 ③子ども達の担当教員から直に実習を学べる ④PTA会員同士、先生方との交流 ⑤子どもの学んでいることを実際に体験し、子どもを尊敬できる 								
主体委員会名・講師名等	愛知県立愛知総合工科高等学校PTA研修部が主体 講師は同校の理工科、機械系学科、電気系学科、建設科、デザイン工学科の教員								
活動の流れ	<p>7月12日 第1回研修部会開催(研修会までのスケジュール設定)</p> <p>8月31日 研修部内の意見交換をメールやLINEで行い、研修テーマと募集人数を決定</p> <p>9月15日 研修会案内文書を生徒へ配布</p> <p>9月19日 きずなネットへ告知</p> <p>9月20日 学校ホームページへ掲載</p> <p>10月3日 第2回研修部会開催 ①定員を超えた応募があったため参加者の抽選を行い、増員可能なテーマの講師となる先生に依頼し、希望者全員が参加できるように配慮 ②参加テーマ決定の通知作成と送達を手配</p> <p>10月5日 学校ホームページへ応募のお礼と実際に体験してもらうテーマを通知する旨を掲載</p>				<p>【これまでの研修会の様子】</p>          				